



2024年1月12日

各位

会社名 株式会社コバ・コーポレーション
代表者名 代表取締役社長 吉村 泰助
(コード番号：7689 東証グロース)
問合せ先 取締役管理本部長 水島 慶和
(TEL：03-5724-4302)

棚卸資産評価損（特別損失）の計上ならびに通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2023年4月14日に公表した2024年2月期通期（2023年3月1日～2024年2月29日）における当社の業績予想を、下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 棚卸資産評価損の計上について

当社において利益体質への転換を目的として既存仕入先の整理に伴う商流変更を行い、既存在庫の処分を決定いたしました。それにより、今回、棚卸資産評価損932百万円が発生し、特別損失に計上するものであります。

その結果、下記事項の実現を目指します。

- ① 原価率低減を実現し黒字体質への転換。
- ② 既存在庫の早期資金化による財務体質の健全化の実現。
- ③ 適正在庫水準を下げる事による管理コストの削減。
 - ・倉庫再編と在庫管理費用の削減。
 - ・実演販売士や営業スタッフの在庫処理にかかるリソース削減による営業効率上昇の実現。

2. 業績予想の修正

(1) 2024年2月期通期業績予想数値の修正（2023年3月1日～2024年2月29日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	3,100	12	10	7	2円36銭
今回修正予想 (B)	2,200	△380	△380	△1,270	△428円63銭
増減額 (B-A)	△900	△392	△390	△1,277	—
増減率 (%)	△29	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2023年2月期)	2,572	△116	△117	△133	△45円00銭

3. 修正の理由

前回発表の業績予想（2023年4月14日）における、2024年2月期中は下期偏重で予算を組んでまいりましたが、第3四半期において、アフターコロナにおけるTV通販の商品採用数が想定を下回り、既存売れ筋商品の売上が伸び悩んだことや、海外商品の仕入が燃料費高騰などの理由により進まず、予算策定時に見込んでいた新規開発商品の売上が伸び悩み、売上高は前回発表予想比900百万円の減少となりました。

また、仕入値高騰の販売価格転嫁の遅れによる粗利率の低下に加え、8月よりスタートした新規クラウドファンディング事業強化のための人員、広告宣伝費、外注費の増加により販管費及び一般管理費が当初計画比3%増加し、営業利益は392百万円、経常利益は390百万円減少し、上記1項「棚卸資産評価損の計上について」に記載のとおり、棚卸資産評価損（特別損失）932百万円の発生により当期純利益は1,277百万円の減少となりました。

上記により、来期以降は新しい主力商品・サービスの提供による原点回帰に注力し、業績回復に向け企業努力を続けて参ります。

4. 中期経営計画について

今回の業績予想の修正による2023年7月14日に開示しました中期経営計画への影響はございません。なお、中期経営計画の更新は年度予算を策定するタイミングで精査させていただきます。

（注）本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合等の様々な要因によって異なる場合があります。

以上